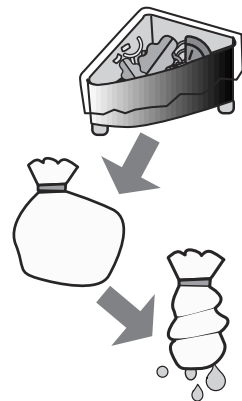


▼食べ物残渣は使おう、食べ切ろう

- ・野菜の皮はキンピラにする
- ・残ったおかずはすぐ冷凍する
- ・余ったおかずは他の献立へアレンジする
- ・昨日の残り物から今日の献立を考える



▼生ごみは水分をよく切って

生ごみには水分が多く含まれています。三角コーナーやネットなどに入れておくと、最後にぎゅつとひと絞りにして、水分を切ってから出すようにしましょう。

「ごみの量を減らしたい」工夫してみよう

できることから始めてみませんか？

ごみを減らそう！リサイクルしよう！

ごみを減らす
リデュース
「Reduce」
使えるものを再使用する
リユース
「Reuse」
資源を再生利用する
リサイクル
「Recycle」



現在の私たちの生活は、便利でものにあふれた豊かな暮らしをしています。しかし、その陰では毎日大量にエネルギーが消費され、ものが廃棄されています。ごみとは、まさに私たちの「豊かな暮らしの残骸」なのです。いつまでもこのような暮らしを続けていたら、環境破壊は加速するばかりです。

そこで、一人一人がものをたいせつにし、資源となるごみをリサイクルして有効利用しましょう。

●環境防災課 ☎84-0314

▼資源になるものはきちんと分別

プラスチック製容器包装だけでなく、紙も資源になります。きちんと分別して、もえるごみを減らすようにしましょう。

大量生産・大量消費はもったいない！循環型社会を「つくりましょ」

▼ごみの発生をくい止める

余計なものを買わないようにし、長く使えるものを選びましょう。

▼最後までたいせつに使う

紙は両面を使いましょう。家電製品は修理して使いましょう。

▼使い終わっても使えるものはくり返し使う

詰め替え商品を利用して、容器をゴミとして発生させないようにしましょう。



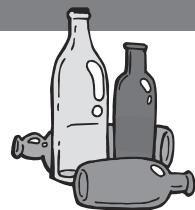
▼再び資源として有効利用する

資源として再生利用できるものは、細かく分別して、新しいものに生まれ変わらせましょう。

資源の回収にご協力ください

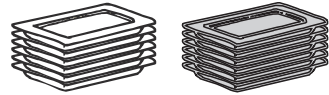
びん・カン

- ・中にたばこの吸殻など異物が入っていたら取り除き、洗って出す
- ・キャップやふたは取りはずす



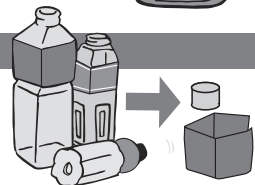
トレイ

- ・汚れを洗い流し、白色トレイは土曜日の資源ごみへ、色つきトレイはプラ容器へ出す



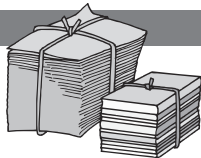
ペットボトル

- ・中をすすいでキャップとラベルはプラ容器へ出す



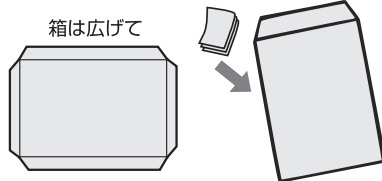
新聞・雑誌

- ・それぞれひもなどでしばって出す



雑がみ

- ・菓子箱などの紙箱、包装紙など大きさをそろえてひもでしばる、または紙袋に入れて出す
- ・クリップや金具、プラスチックなど紙以外のものを取り除く
- ・細かい紙は飛び散らないように封筒などに入れる



こんなものは混ぜないで

写真・ビニールコート紙・感熱紙・紙コップなどの防水加工紙・ノーカーボン紙・線香や石けんなどにおいのついた紙・使用済みティッシュペーパー

まき、ごみを持ち込まないようにつくましょ

ごみと言えども、その多くは「必要だったから」我が家に持ち込まれたものです。しかし、「もともと必要でなかったもの」は、最初からごみになる可能性が大きいのです。

▼食べ切れない量は買わない

あれもこれもと買い込んで、作り切れない、食べ切れないでは食材が無駄になるだけです。食材は適量を買うようにしましょう。

▼安売り買いに要注意

安いからとあれもこれもと買ってすぐ捨ててしまうのは、ごみを増やすだけです。必要なものだけ買うようにしましょう。

▼割りばし、ストローはもらわない

ついついもらってしまいがちですが、結局使わないで引き出しにしまっておくだけではないですか。なるべく家にあるものを使いましょう。

▼「レジ袋はいりません！」

マイバッグを持っていくレジ袋と侮るなかれ、ちりも積もれば山となります。

おしゃれなバッグに変身したのは何でしょう？

突然ですが、このバッグは何からできていると思いますか。なんと素材は、傘の布の部分なんです。「うまく縫い合わせれば、とてもおしゃれで丈夫なバッグになります。毎年、会員みんなで分担して、着物や古着などで約100袋を縫い上げ、広めています」と消費者の会の遠藤道子会長(表紙写真の前列右)。最近では、皆さんに喜ばれるデザインを考えながら作っているそうです。

